

山元町上下水道中期経営計画



山元町公式キャラクター
ホッキーくん

山元町上下水道事業所



目次

1	はじめに	…	1
2	山元町の概要	…	2
3	上下水道事業の概要	…	4
4	経営状況	…	10
5	東日本大震災	…	12
6	経営改善の取組	…	13
7	事業環境	…	17
8	目指すべき方向	…	23
9	施策の基本方向	…	24
10	モノ・投資計画	…	25
11	ヒト・運営体制	…	30
12	カネ・財政計画	…	31
13	住民サービス	…	35
14	計画の進行管理	…	36
15	参考資料	…	37

1 はじめに

山元町の水道事業は、昭和30年代に坂元簡易水道の創設からはじまり、その後、各地区の簡易水道の統合や拡張工事などを経て、現在は約99%の普及率となっており、多くの皆さまへ安全・安心な水を日々お届けしています。

また、下水道事業は、昭和50年代に整備が始まり、現在の普及率は約60%となっており、公共用水域の水質保全に寄与しています。

平成23年の東日本大震災では、上下水道の施設も被害に合い、町内全域で断水が発生するなど多大な影響を受けました。復旧工事は概ね完了したものの、給水人口の減少に伴う水需要の減少は今後も引き続き見込まれ、さらに、施設の老朽化に伴う更新が迫っており、上下水道事業を取り巻く経営環境は大変厳しい状況に変化しています。

このような中で、上下水道事業を持続的に運営していくためには、効率的な投資や経営のさらなる合理化が必要です。このため、国が提示する「新水道ビジョン」や「新下水道ビジョン」、さらには町の将来の姿を見据えた新たなまちづくりの指針である「第6次山元町総合計画」も踏まえ、山元町上下水道事業のこれからのことを考えた中期経営計画を策定しました。

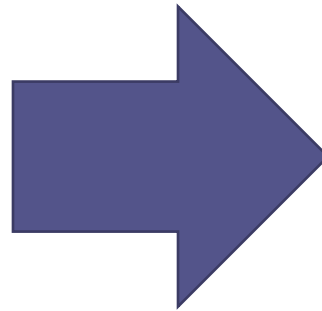
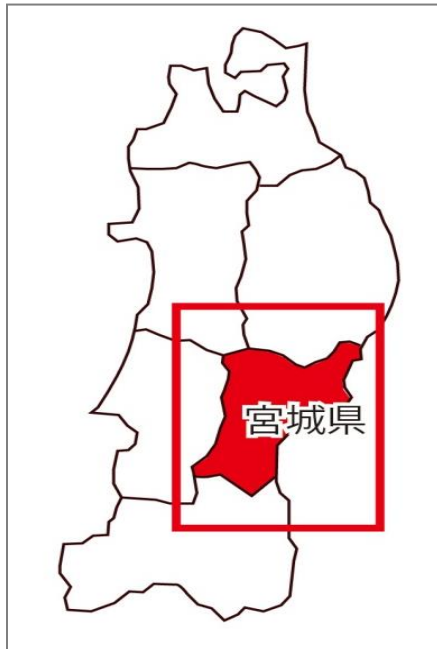
計画期間は令和3年度から7年度までの5年間としています。



2 山元町の概要(位置及び特色)

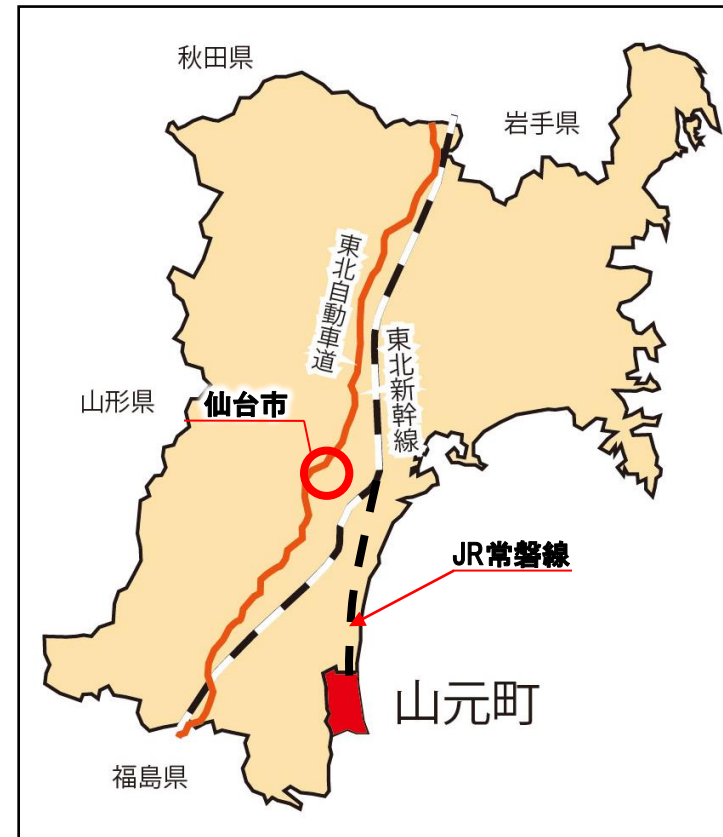
＜東北の湘南＞

- 位置: 仙台市から南に35km
- 面積: 64.58km²(東西約6km 南北約11km)
- 地勢: 西に標高300mの阿武隈山地
東に仙台湾南部白砂青松の海岸線
- 気候: 平均気温12.0度
年間降水量1,250ミリ



＜山元町までの所要時間＞

- * 東京～新幹線と常磐線 2時間30分
- * JR常磐線(仙台駅～山下駅) 45分
- 常磐自動車道(仙台空港IC～山元IC) 15分



2 山元町の概要(産業、人口動態)

項目	内容
産業別就業者	1次:9.1% 2次:34.7% 3次:54.4% (平成27年国勢調査)
特産品	いちご りんご ホッキ貝 シャインマスカット 復興芝生
高齢化率	40.7%(令和2年3月末現在)
出生率	5.02%(令和元年)
人口推移	平成 7年9月末 18,815人…ピーク 平成23年2月末 16,695人(5,561世帯) 令和2年12月末 12,081人(4,814世帯) △ 747世帯 (△13.4%) △4,614人 (△27.6%)



3 上下水道事業の概要(水道のあゆみ)

本町に水道ができたのは、今から約60年ほど前のことです。
それまでは、井戸水やわき水を利用していました。
良質な水質に恵まれなかった海岸地帯の飲料水の改善、住宅団地の増加等に伴い、衛生的で便利、さらに防火上からも水道の早期創設が町民から望まれていました。

昭和37年	坂元簡易水道創設
昭和38年	横山簡易水道創設
昭和39年	山下簡易水道創設
	合戦原簡易水道創設
昭和48～52年	各簡易水道拡張事業 一部山間部を除きほぼ全域が給水可能に
昭和53年	山元町上水道創設(簡易水道を統合)
昭和55～平成元年	第一次拡張事業
平成2年	仙南・仙塩広域水道用水供給事業からの受水開始
平成2～12年	第二次拡張事業
平成17年	未納徴収の取組 職員6人3班体制による滞納整理の実施
平成20年5月8日	広域水道漏水に伴う広域断水
平成23年3月11日	東日本大震災により被災
平成27年4月	包括的業務委託の導入
令和3年2月	福島県沖を震源とする地震により被災

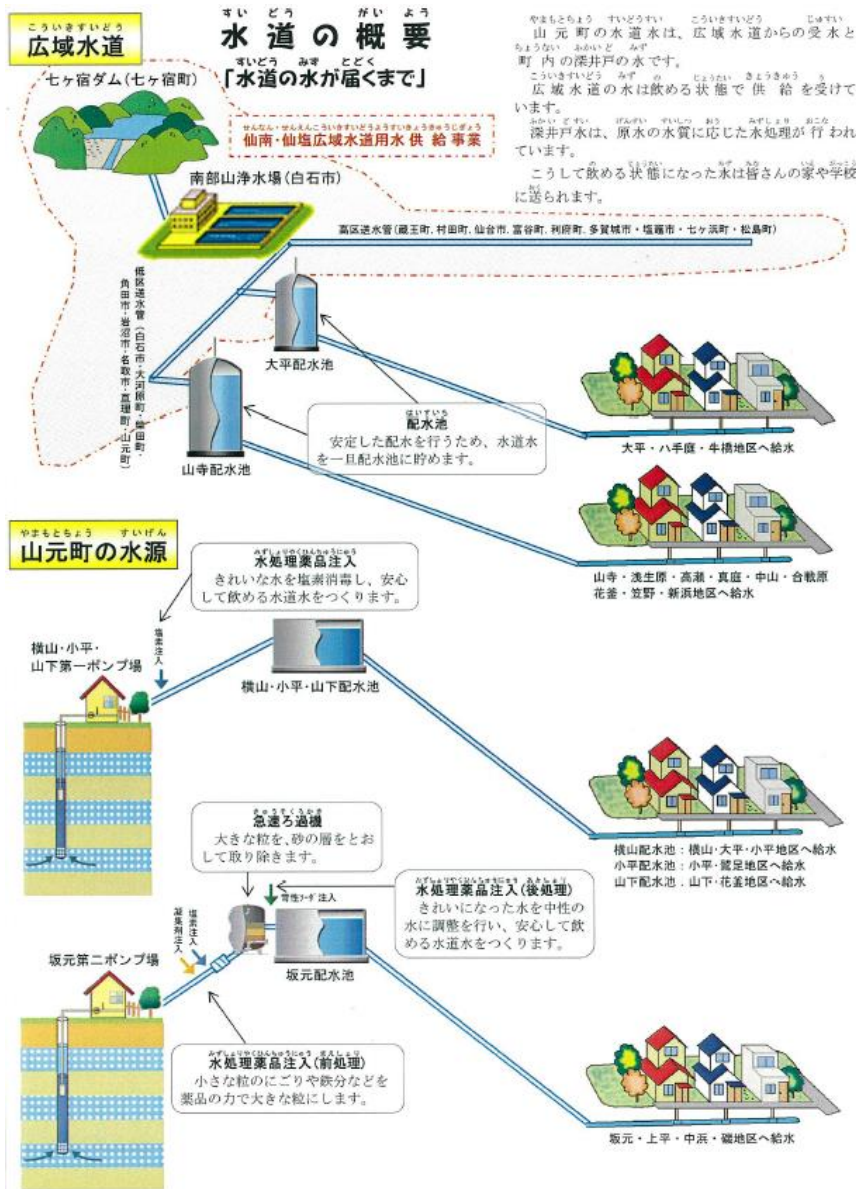


3 上下水道事業の概要(下水道のあゆみ)

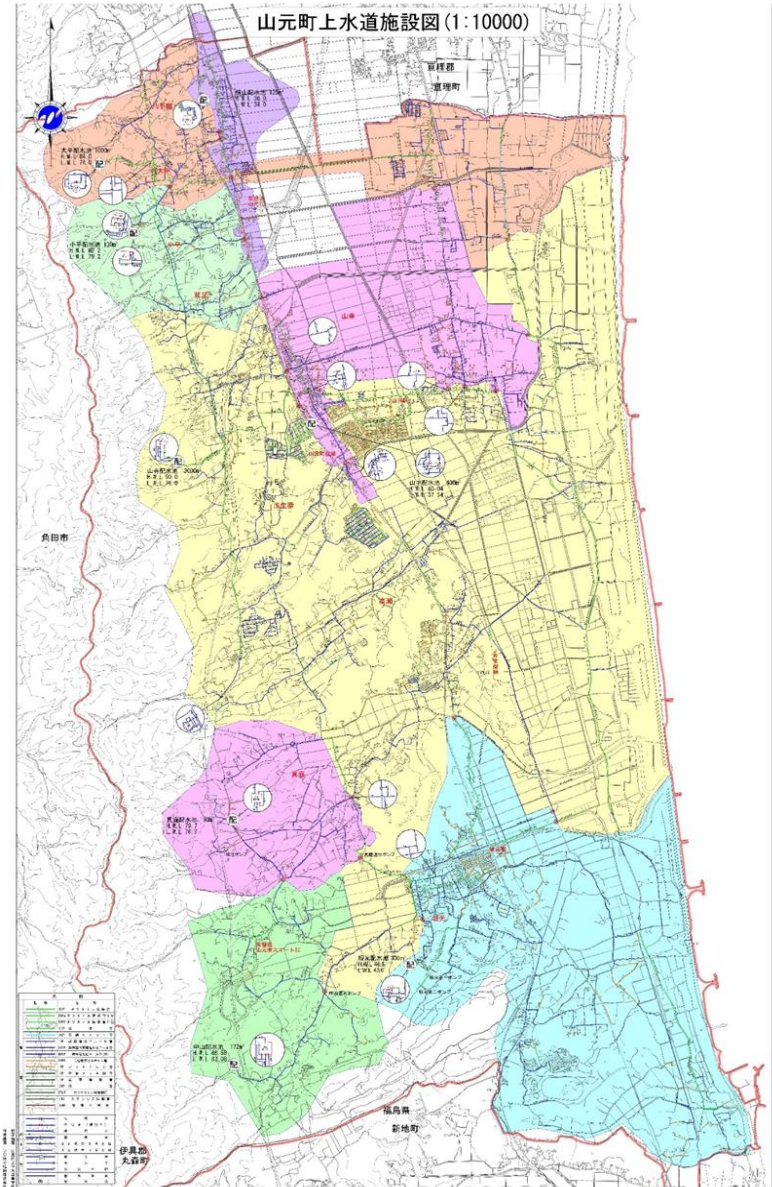
本町の下水道が整備され始めたのは、今から約40年ほど前のことです。それまでの生活排水は、「し尿汲取り」などにより未処理のまま放流されていました。この生活排水は、停滞、腐敗し悪臭が発生するなど、著しく生活環境を阻害する原因となっていました。

昭和53年	花釜地区農業集落排水事業 整備開始
昭和54年	特定環境保全公共下水道事業 整備開始
昭和60年	花釜地区農業集落排水事業 供用開始
平成元年	坂元地区農業集落排水事業 供用開始
平成 5年	山元浄化センター完成(山下・西花釜・花釜地区 供用開始)
平成 8年	中浜地区農業集落排水事業 供用開始
平成 9年	磯地区農業集落排水事業 供用開始
平成11年	上平地区農業集落排水事業 供用開始
平成17年	花釜地区農業集落排水事業を特定環境保全公共下水道事業へ編入
平成21年	地方公営企業法適用(企業会計導入による経営基盤強化)
平成23年3月11日	東日本大震災により被災
平成25年	山元浄化センター震災復旧完了
平成25年	上平地区農業集落排水処理場震災復旧完了
平成27年	包括的業務委託の導入
平成29年	磯地区農業集落排水処理場規模縮小・移転して震災復旧完了
平成30年	農業集落排水事業の廃止手続き完了(中浜地区・磯地区の一部)
平成31年	坂元地区農業集落排水事業を特定環境保全公共下水道事業へ編入

3 上下水道事業の概要(水道の施設)



山元町の水道水は、広域水道からの受水と町内の深井戸の水です。
広域水道の水は飲める状態で供給を受けています。
深井戸水は、原水の水質に応じた水処理が行われています。
こうして飲める状態になった水は皆さんの家や学校に送られます。



3 上下水道事業の概要(水道事業のあらまし)

水道の利用者数

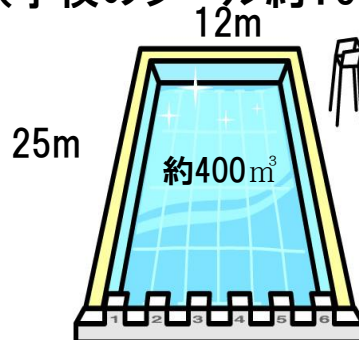
給水戸数 5,142戸

給水人口 11,997人
(町民の約98.9%)

水道の生産量

年間給水量 1,518,963 m^3

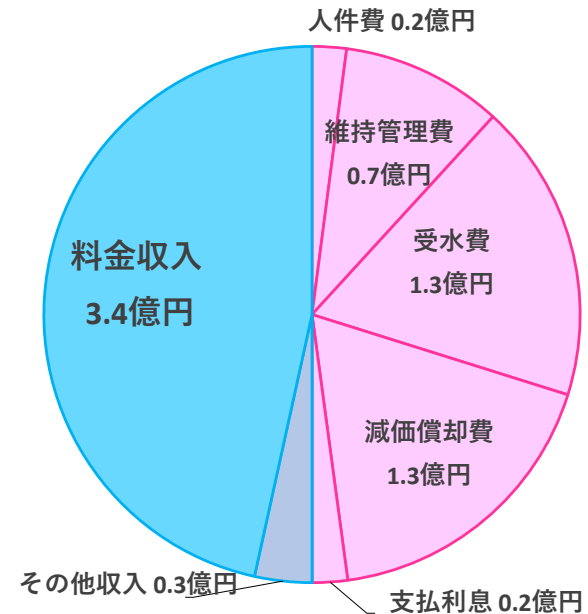
一日平均給水量 約4,150 m^3
(学校のプール約10杯分)



水道料金

年間料金収入 3億3,988万円

<水道料金の使われ方>



※数値は令和元年度決算値



3 上下水道事業の概要(下水道事業のあらまし)

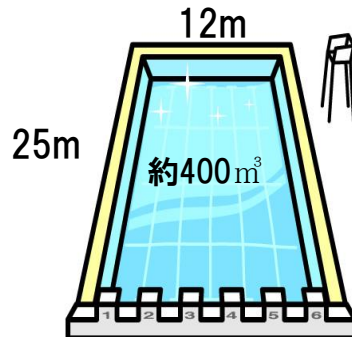
下水道の利用者数

処理区域内人口
7,310人
(町民の約60.3%)

下水道の処理量

年間処理量 1,088,001 m³

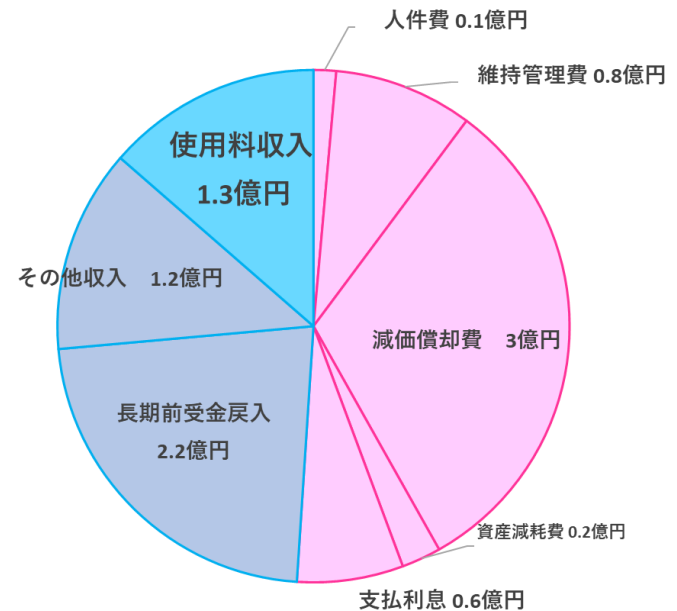
一日平均給水量 2,973 m³
(学校のプール約7.5杯分)



下水道使用料

年間使用料収入 1億3,088万円

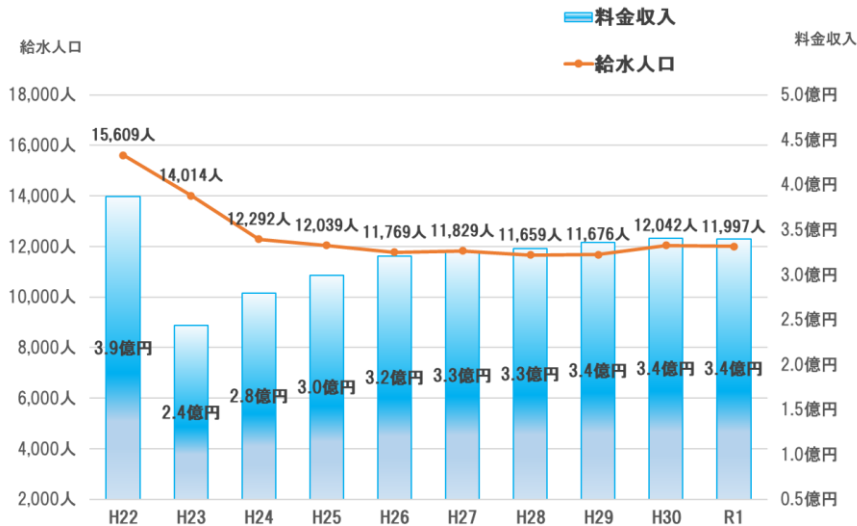
<下水道使用料の使われ方>



※数値は令和元年度決算値

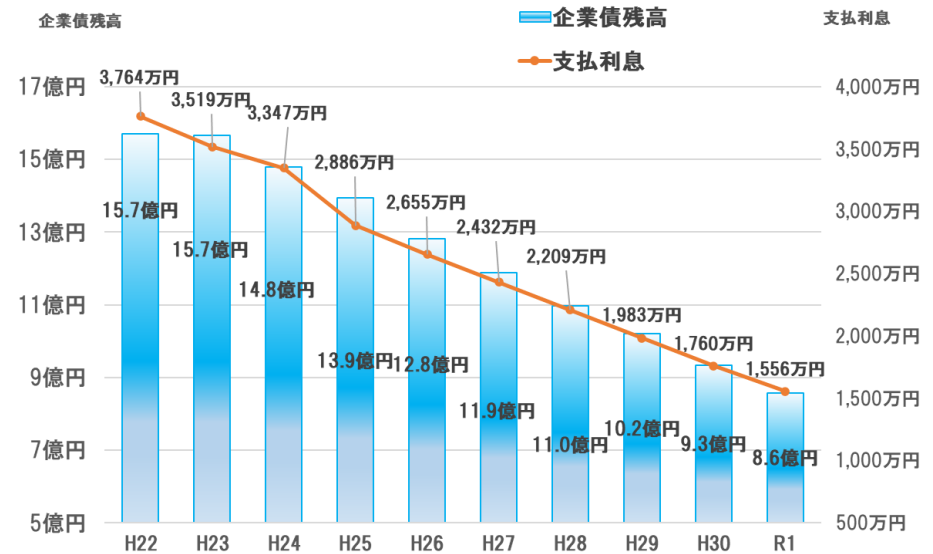
4 経営状況(水道事業)

給水人口と料金収入の推移



- 東日本大震災により、給水人口が約2割、料金収入が約3割減少しました。
- いちご団地や宮城病院などが上水道に接続したことや、新市街地の整備などにより、震災前の水準とまではいかないものの、回復傾向にあります。

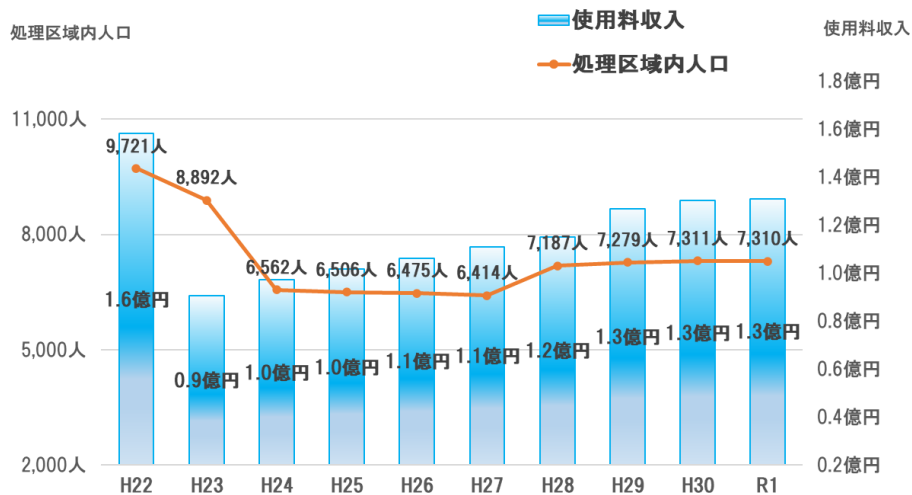
借入金(企業債)残高の推移



- 東日本大震災以降、復旧・復興による工事(補助事業)を優先しました。
- 既存施設の更新工事を控え、新たな企業債を発行しなかったことから、企業債残高は減少しています。

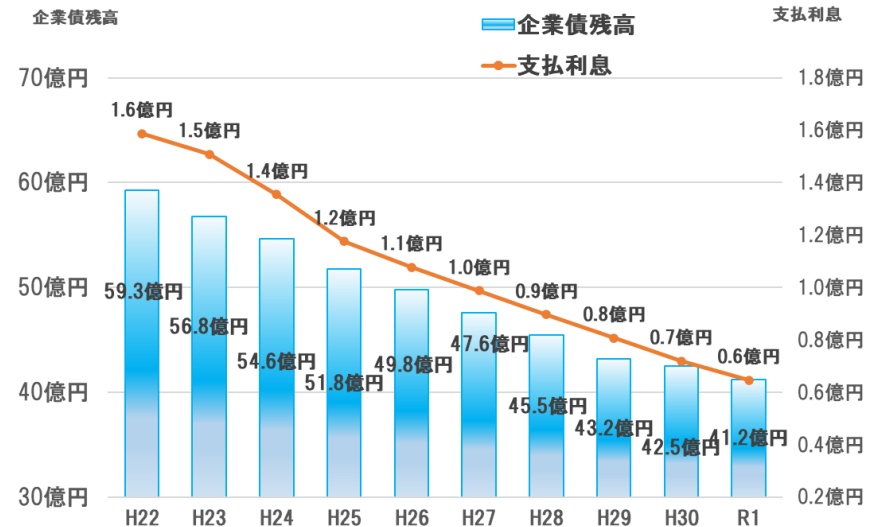
4 経営状況(下水道事業)

処理区域内人口と使用料収入の推移



- 東日本大震災により、下水道使用料収入が約4割減少しました。
- 宮城病院が接続したことや新市街地の整備などにより、震災前の水準とまではいかないものの、徐々に回復傾向にあります。

借入金(企業債)残高の推移



- 東日本大震災以降、復旧・復興による工事(補助事業)を優先しました。
- 既存施設の更新工事を控え、新たな企業債を発行しなかったことから、企業債残高は減少しています。



5 東日本大震災

津波による水管橋の被災



施設の被害
上水道28億円
下水道45億円

下水道浄化センターの津波による被害

<断水の復旧状況>

H23.3.11 … 町内全域断水

H23.4.11 … 78%復旧

H23.4.28 … 100%復旧

(津波浸水区域を除く)



6 経営改善の取組①

平成25年 横浜市との連携

「横浜市」と「横浜ウォーター(※)」が連携して山元町上下水道事業の経営を支援する協定を締結
 ※横浜市100%出資の株式会社



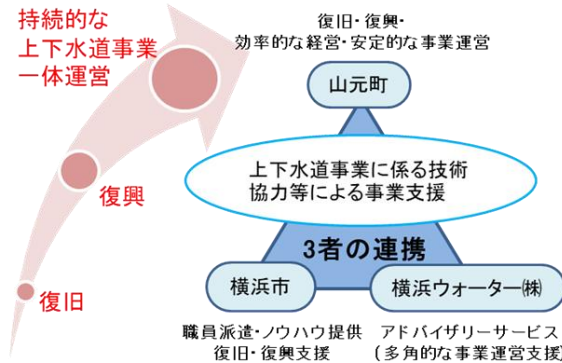
山元町・横浜ウォーター・横浜市
 による三者協定更新

平成30年度国土交通大臣賞受賞 【循環のみち下水道賞アセットマネジメント部門】



年度	横浜市・横浜ウォーターとのかわり
H23年度	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災後に現地入り 上下水道施設復旧・復興・事業運営のあり方を提言 国交省総合政策局/官民連携事業モデル調査採択
H24年度	<ul style="list-style-type: none"> 国交省水管理・国土保全局/上下水道一体運営モデル調査採択 3者協定の締結(山元町・横浜ウォーター・横浜市)
H25年度～	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業経営アドバイザー業務(包括委託導入支援/モニタリング、財政計画、長寿命化計画、経営計画策定、決算支援など)
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通大臣賞受賞(循環のみち下水道賞アセットマネジメント部門)

持続的な
 上下水道事業
 一体運営



- 【横浜市における主な支援】
- 災害復旧に係る職員派遣
 - 災害復旧事業支援
 - 災害公営住宅に係る下水道管布設技術支援
 - 公営企業会計支援
 - 震災支援技術研修
- 【横浜ウォーターにおける主な支援】
- 包括的民間委託導入支援
 - 包括的民間委託モニタリング
 - 財政計画策定
 - 長寿命化計画策定
 - 上下水道ビジョン、中期経営計画策定
 - 住民コミュニケーションの取組
- 【双方の取組】
- 横浜市BCP訓練への山元町職員参加
 - 山元町ふれあい産業祭への出展など

“持続的な上下水道経営基盤構築に向けた公公連携”
 ～人・モノ・カネの一体マネジメント～



包括的民間委託
 モニタリング会議

上下水道ビジョン
 検討会

ふれあい産業祭への
 共同出展

長寿命化計画のため
 の設備診断

三者による取り組み

6 経営改善の取組②

平成27年 包括的業務委託の導入



第1期包括的業務委託

受託者: 水ingAM株式会社
 期間: 平成27年度～令和元年度
 内容: 施設維持管理・料金関係業務

5年間で**7,700万円**の経費削減

+料金収納率の向上

導入前96.05%→導入後平均98.04%(2%UP)

約1,000万円の効果額

第2期包括的業務委託

受託者: 第一環境・水ingAM特定共同企業体
 期間: 令和2年度～令和6年度
 内容: 施設維持管理・料金関係業務

【第1期包括からの主な拡充・変更点】

- 評価に基づく業務範囲や要求水準の見直し
- 定型業務は委託化へ(試行から本格化)
- 水道法改正への呼応
- 戦略的な修繕・更新計画策定と選択的実行へ

レベル
アップ

山元町水道お客さまセンター
 営業時間 平日 8:30～17:15
 土曜日 8:30～12:00
 休業日 日曜・祝日・年末年始

6 経営改善の取組③

平成28年 機械電気設備長寿命化計画の策定



限られた予算の中で、施設の更新等を計画的に実行するため、「機械電気設備長寿命化計画」を策定

「厚生労働省(水道)」「国土交通省(下水道)」が示した指針に基づき、早期に対応。

設備診断

+

LCC(ライフサイクルコスト)評価

10か年にわたる改築更新計画策定

老朽化した機械電気設備の
計画的な更新へ

6 経営改善の取組④

平成31年 施設統廃合(農集を特環へ統合)

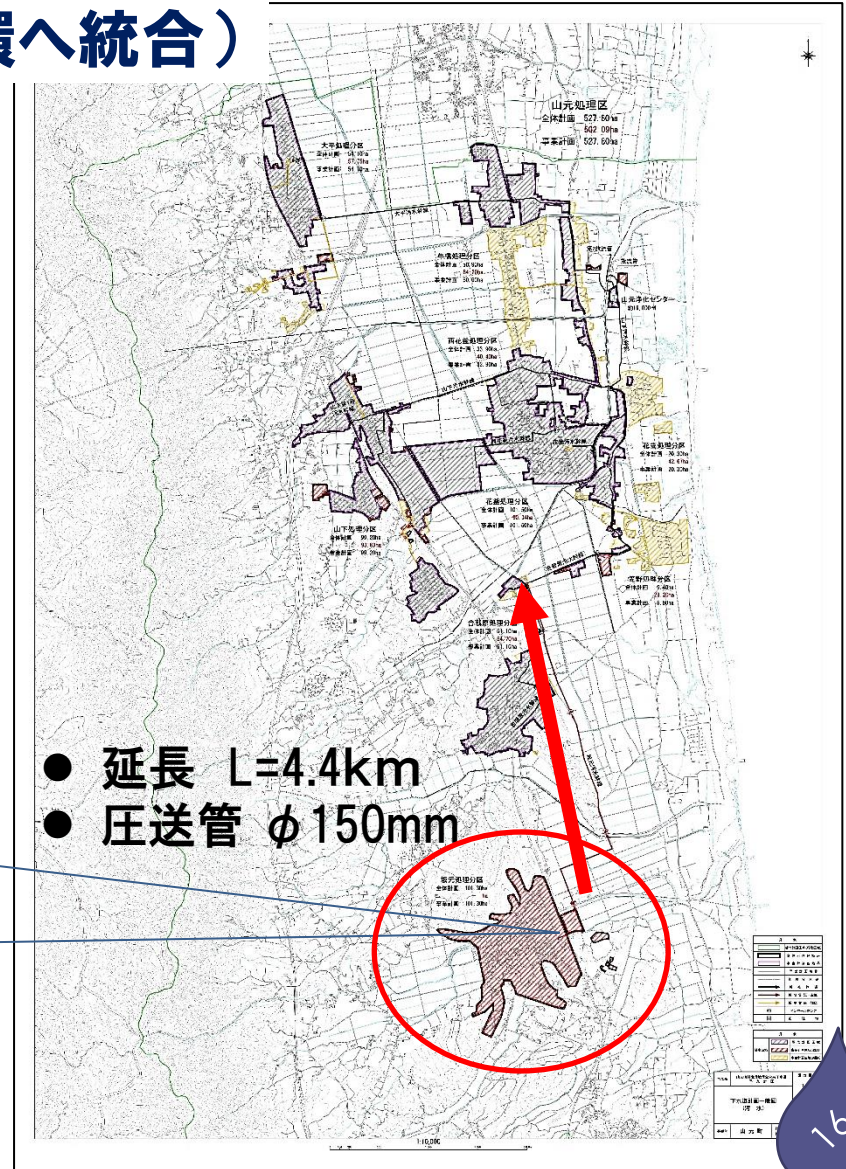
施設の老朽化に伴い、坂元農業集落排水施設を廃止し、マンホールポンプへ切替えを行い公共下水道への接続工事を実施。



平成31年4月に接続完了

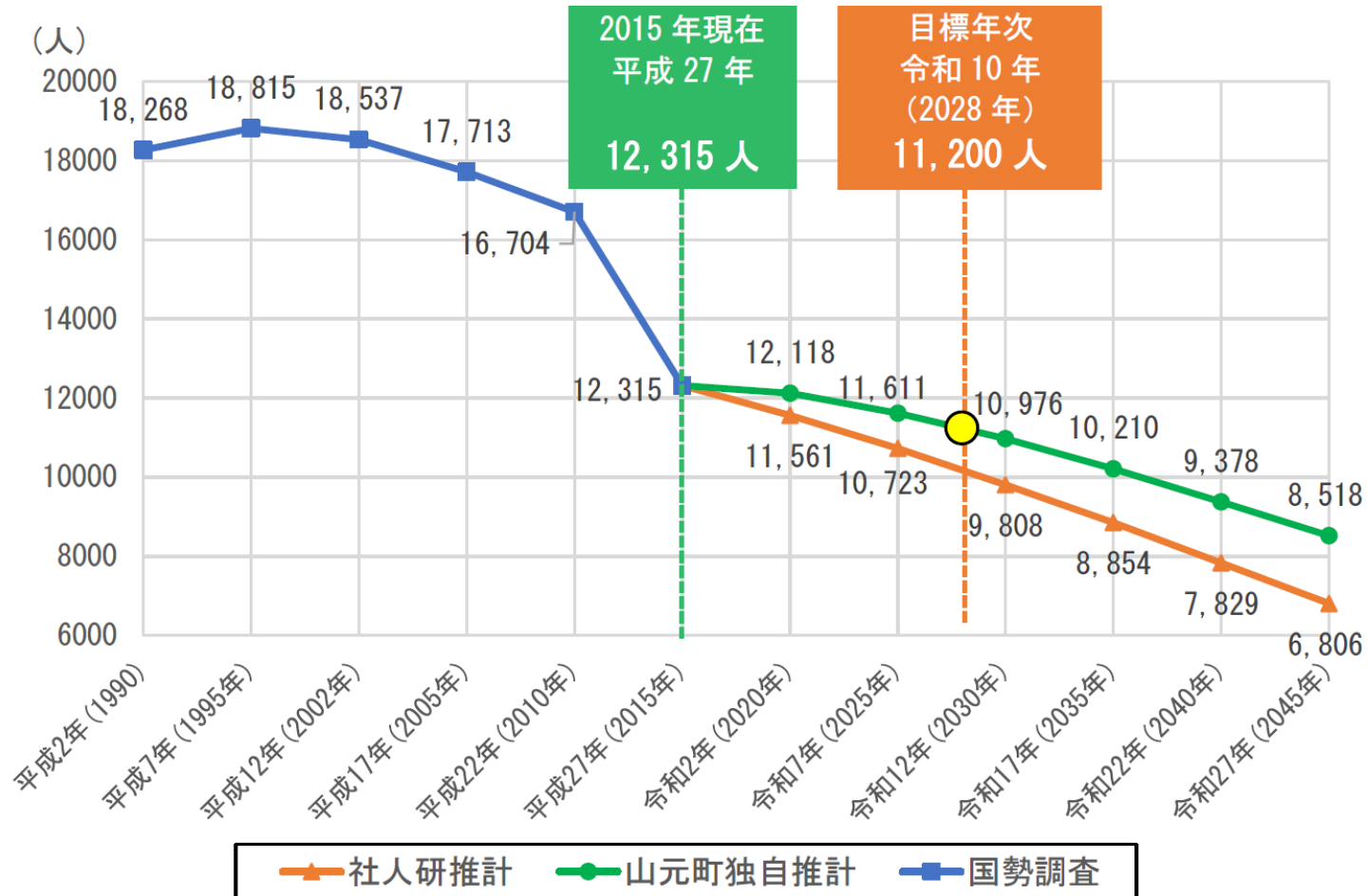


旧坂元農業集落排水施設



7 事業環境

人口の動向 人口の減少による上下水道の利用者が減少



山元町の将来人口推計（国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所）

出典「第6次山元町総合計画」

7 事業環境

震災復興・まちづくり

新たな需要の発生による上下水道利用量の増加

新市街地の整備



農水産物直売所
「やまもと夢いちごの郷」オープン



宮城病院周辺地区の整備



町内4か所の「いちご団地」の整備

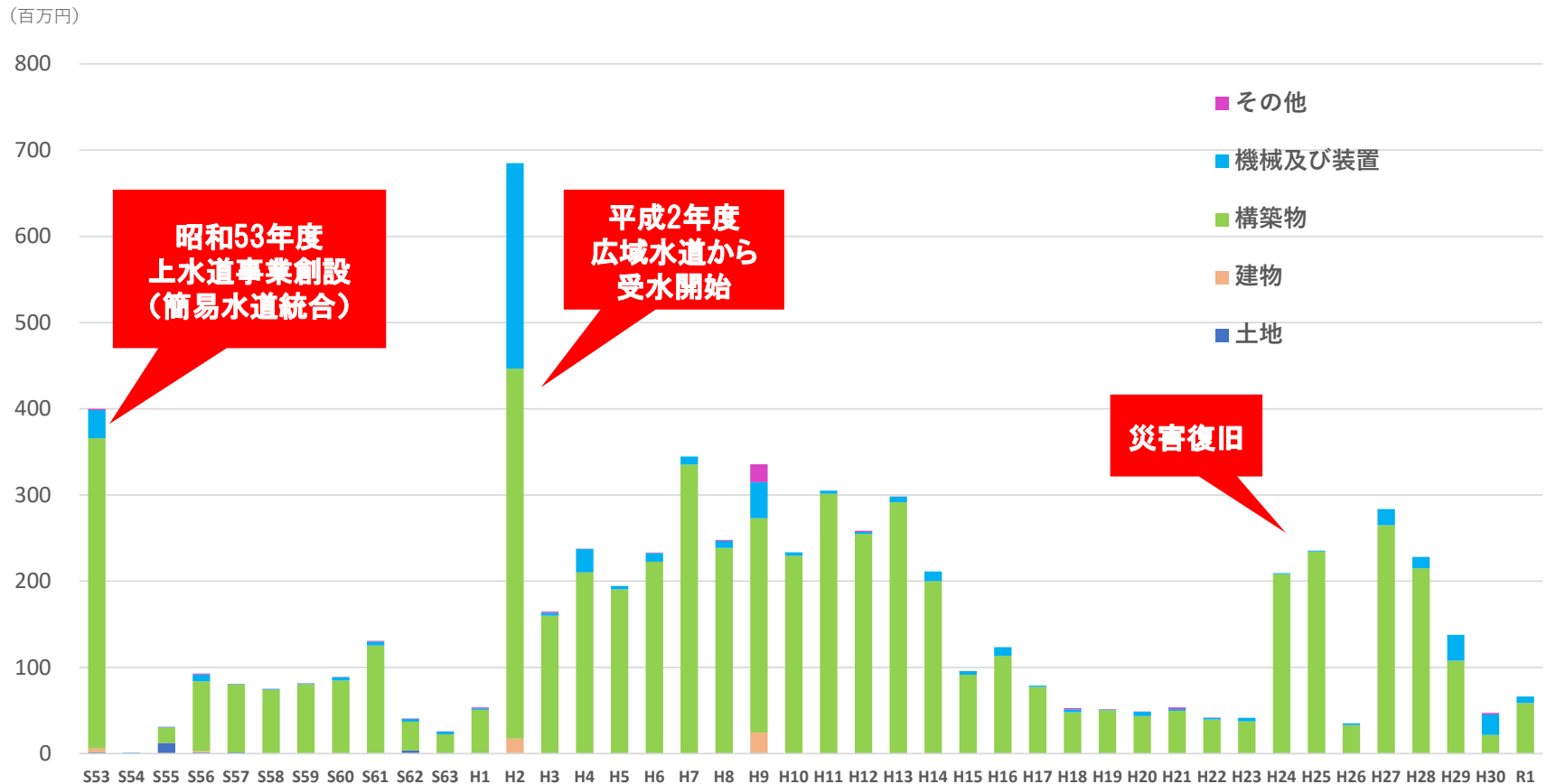


7 事業環境

資産の取得状況（水道事業）

取得資産総額 55億円（令和元年度末現在の簿価 25億円）

集中的に整備した時期の施設が、今後老朽化し更新時期を迎えます。



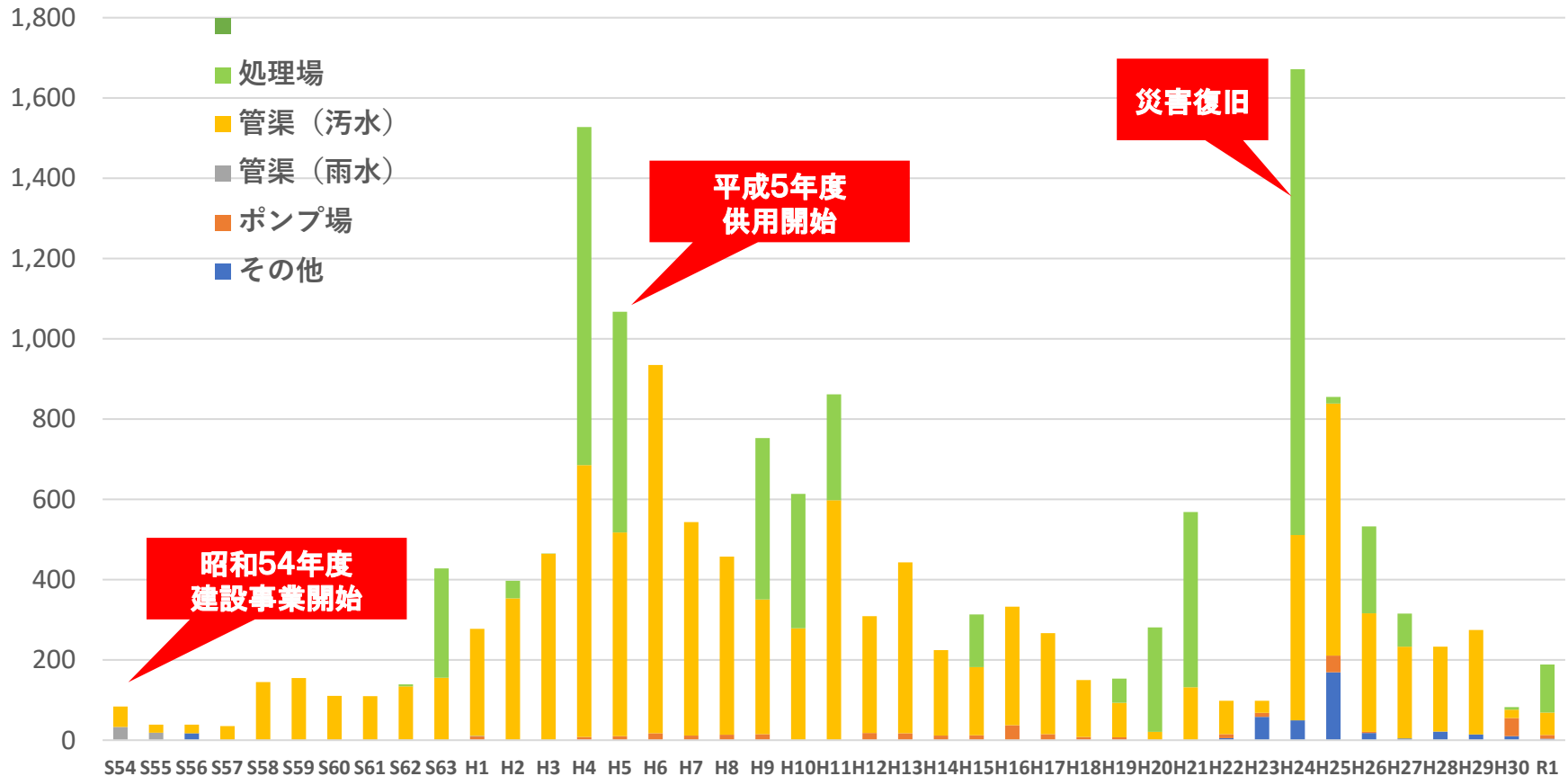
7 事業環境

資産の取得状況（特定環境保全公共下水道事業）

取得資産総額 122億円（令和元年度末現在の簿価 99億円）

集中的に整備した時期の施設が、今後老朽化し更新時期を迎えます。

（百万円）

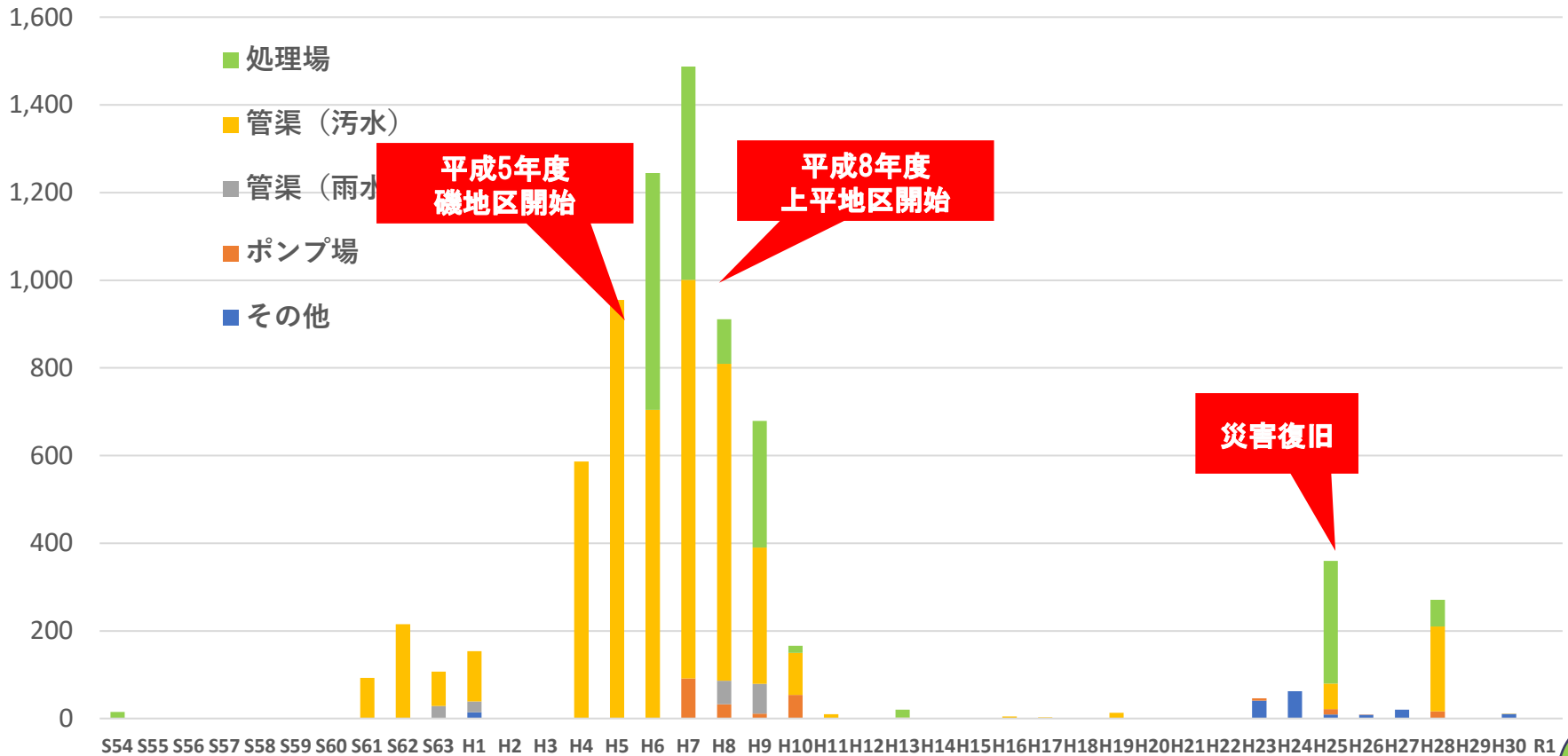


7 事業環境

資産の取得状況（農業集落排水事業）

取得資産総額 21億円（令和元年度末現在の簿価 17億円）

（百万円）



7 事業環境(まとめ)

- 東日本震災による施設等の復旧・復興のための莫大な資金投資や給水人口等の減少により、厳しい経営を強いられている状況ですが、新市街地、いちご団地等の整備や宮城病院の水道及び公共下水道の接続により給水収益等は回復傾向に転じ、さらに、包括的業務委託の取組みによるコスト削減効果や県から受水する広域水道料金の改定等から、危機的状況は脱し、比較的安定した経営ができております。
- 今後は、人口減少に伴う水需要の減少が見込まれ、更には、老朽化した施設等が数多く更新時期を迎え、更新費用の資金確保が必要となることから、経営の基盤強化を図ることが急務となります。また、長寿命化対策等を計画的に実施し、持続可能な上下水道の経営に取り組む必要があります。

8 目指すべき方向

災害に強い上下水道

- 施設の耐震化
- 緊急時のバックアップ体制強化

持続可能な上下水道

- 民間企業との連携による技術継承
- 施設の長寿命化と計画的な更新
- 様々な業務改善による経費縮減

信頼される上下水道

- 住民ニーズの把握と対応
- 広報の充実

9 施策の基本方向

安全で安心な水供給と、公共用水域の水質や生活環境を持続的に保全するまちづくりを進めます。

(1) 上水道施設の適切な管理

- 安全で安心な水道水を安定的に供給するため、水道施設等の長寿命化及び耐震化事業を計画的に取り組んでいきます。
- 沿岸部の土地利用計画により、住民の居住分布が変化したことから、配水系統の見直し等を行います。

(2) 下水道施設等の整備の推進

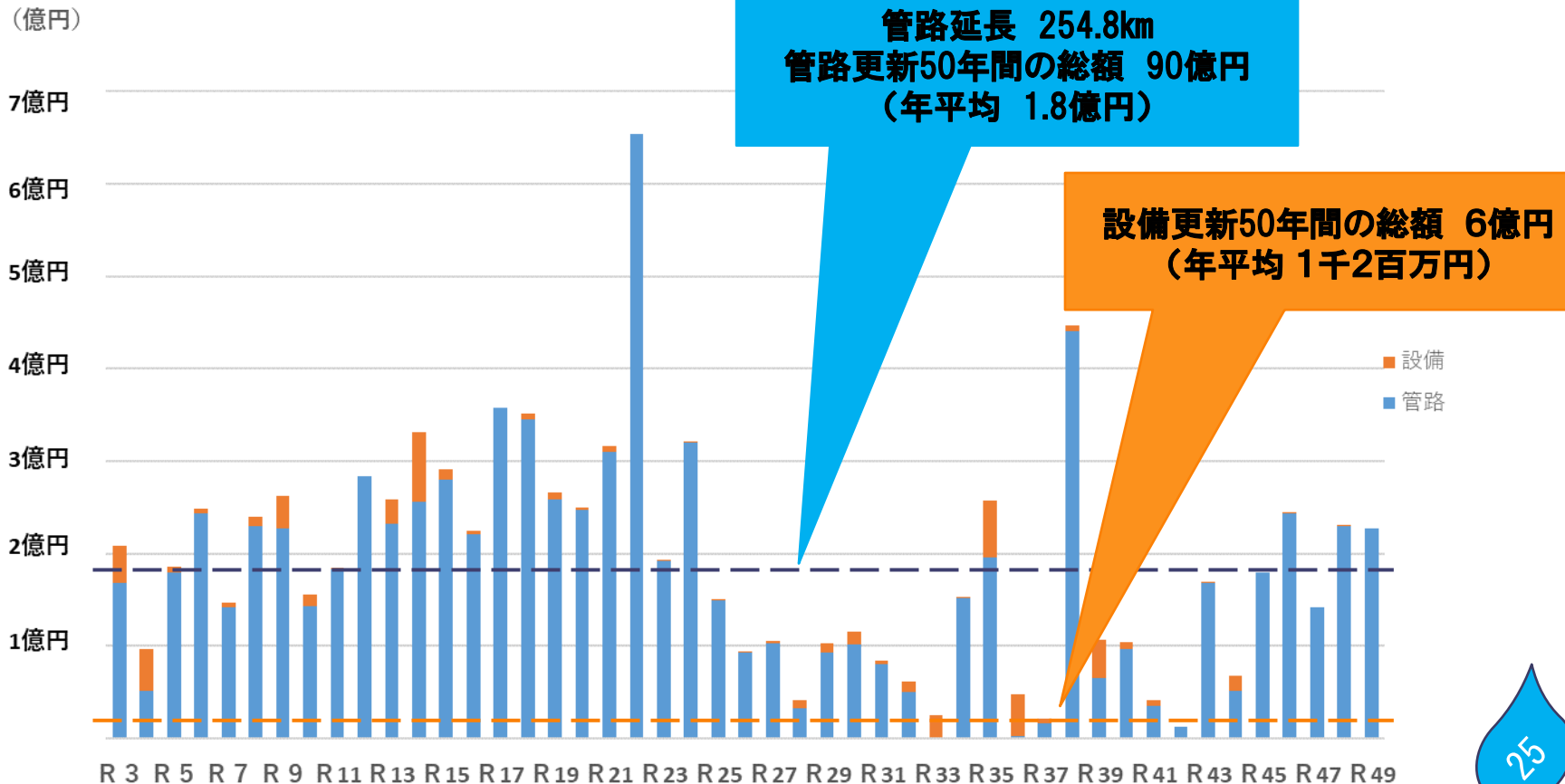
- スtockマネジメントに基づく長寿命化及び改築・更新事業を検討し、事業の平準化を行い計画的な施設整備を行います。
- 下水道の供給開始後、一定期間が経過しても、下水道へ接続しない方へ下水道接続を働きかけるとともに、下水道処理区域外においては、浄化槽による汚水処理を推進します。

10 モノ・投資計画

将来の更新需要（水道）

《算出条件》

- 【管路】 ※ 現在保有している管路を耐用年数(40年)経過後に更新するシミュレーション
 ※ 更新費用の単価は5.7万円/mで算出
- 【設備】 ※ 設備ごとに設定した目標耐用年数の経過ごとに更新するシミュレーション
 ※ 更新費用は、前回取得時と同額で算出

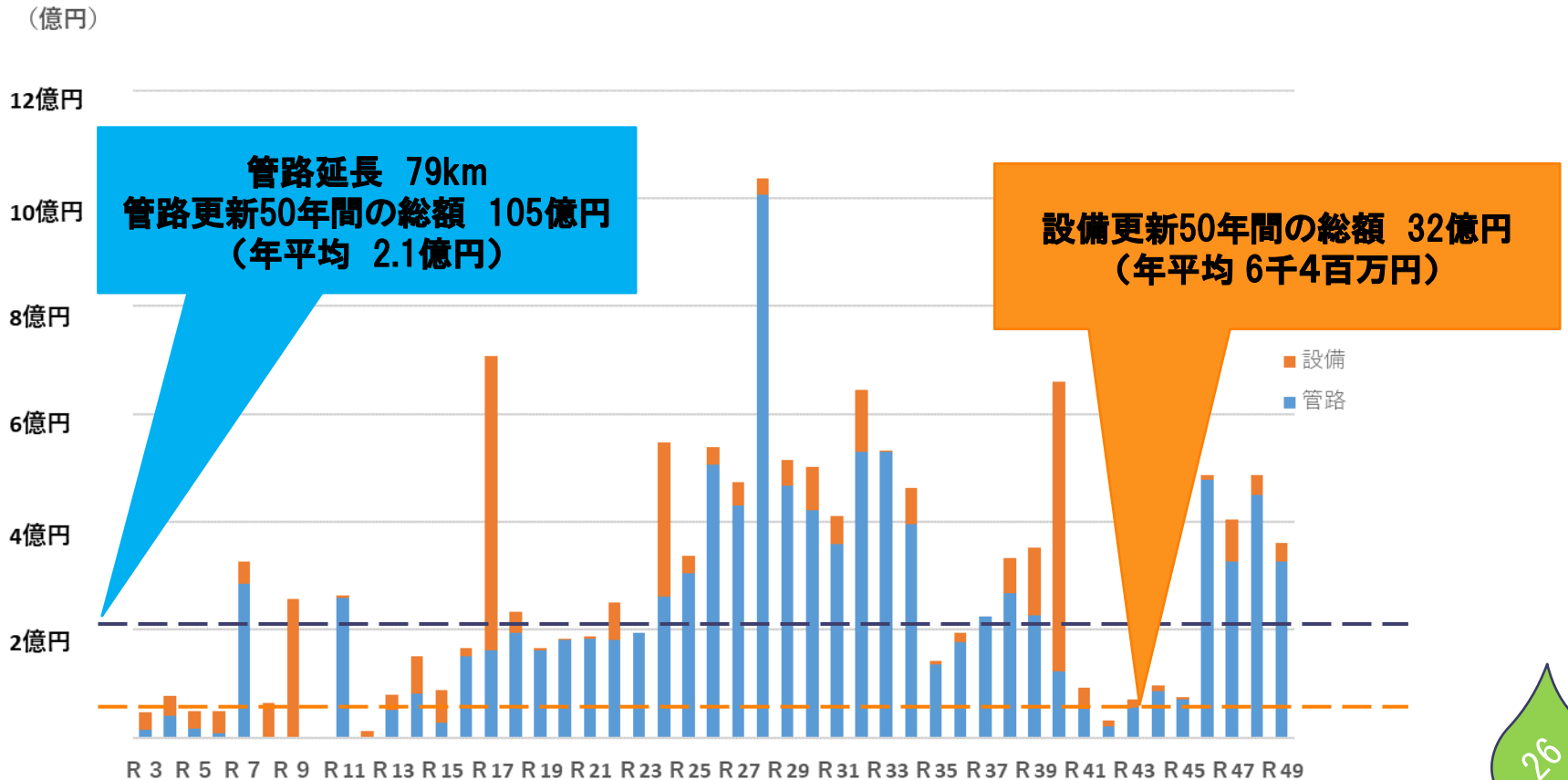


10 モノ・投資計画

将来の更新需要（特環）

《算出条件》

- 【管路】 ※ 現在保有している管路を耐用年数(50年)経過後に更新するシミュレーション
- ※ 更新費用は、前回取得時の工事費を現在の工事費に換算して算出
- 【設備】 ※ 設備ごとに設定した目標耐用年数の経過ごとに更新するシミュレーション
- ※ 更新費用は、前回取得時と同額で算出

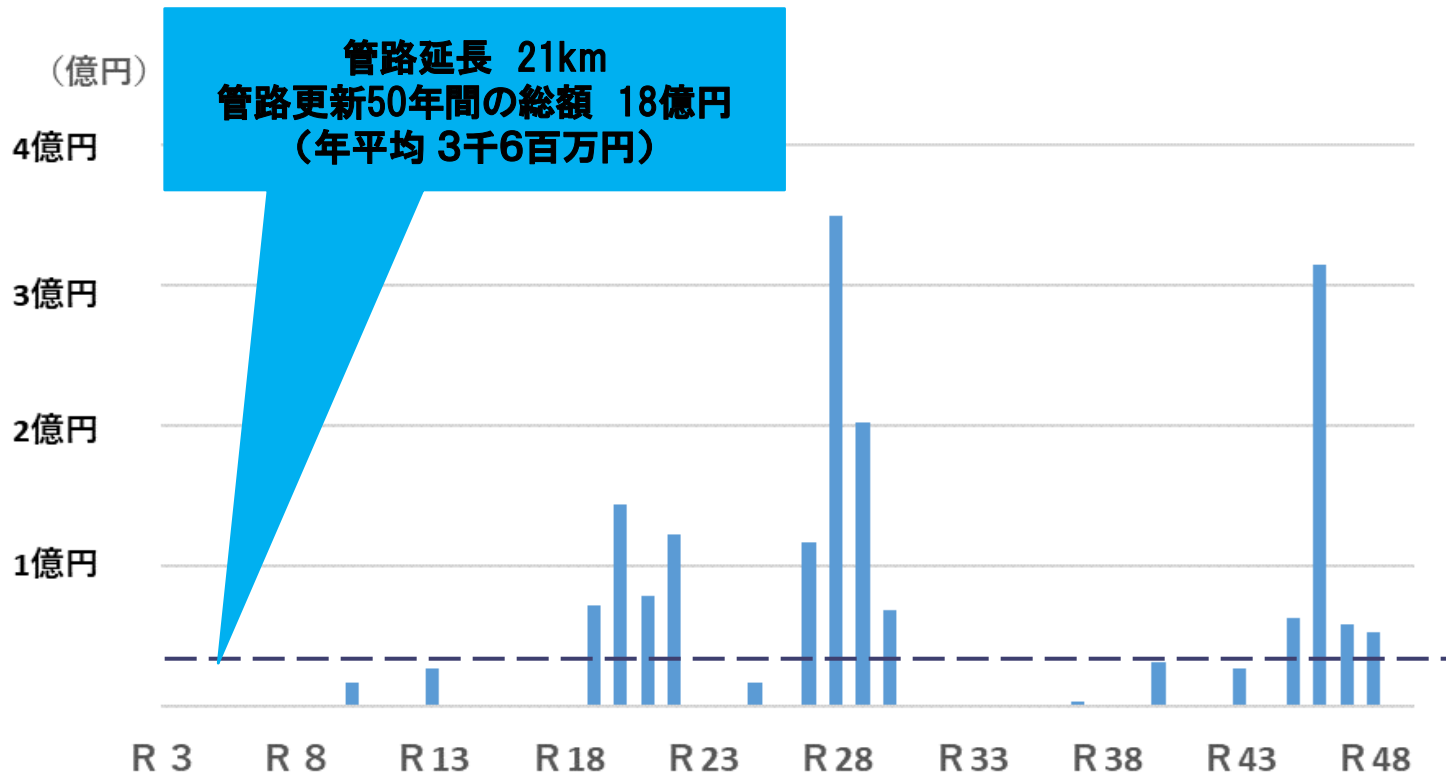


10 モノ・投資計画

将来の更新需要（農集 管路）

《算出条件》

- ※ 現在保有している管路を耐用年数(50年)経過後に更新するシミュレーション
- ※ 更新費用は、前回取得時の工事費を現在の工事費に換算して算出



10 モノ・投資計画

更新計画の基本的な考え方

- 水道管路については、社会的影響度の大きい「緊急輸送路」や「避難場所への給水ルート」や、老朽度の大きい管路から優先的に更新
- 下水道管きょについては、「テレビカメラ調査結果」を活用しながら、更新の必要性を判断し、「修繕」か「更新」を選択
- 機械電気設備については平成28年度に策定した「機械電気設備長寿命化計画」に沿って長寿命化を図り、適宜計画を見直しながら計画的に更新
- 財政状況に合わせて、事業の平準化を行い、計画的な施設整備を推進

10 モノ・投資計画

水道事業

項目	内容
配水池耐震化事業	令和4年度から実施
老朽配水管更新事業	口径50～150mmを130m/年更新
水道施設(浄水設備・機器)更新事業	2か所/年

下水道事業

項目	内容
取付管及び支線事業	2か所/年 50m/年
汚水管路更新事業	口径150～300mmを150m/年更新
浄化センター設備更新事業	計画に基づく設備更新、マンホール蓋更新

11 ヒト・運営体制

(1) 将来を見据えた技術継承と執行体制確保

- 横浜市・横浜ウォーターとの3者協定に基づく交流の推進や事業運営ノウハウの蓄積
- 包括的業務委託に拡充による民間活力の活用
- 研修等の参加による直営職員の知識・ノウハウの向上と政策立案・実行管理等重要な業務への注力化
- 県等との連携による広域化・共同化の検討・推進
- 業務のマニュアル化・標準化の推進

(2) 災害時の対応力強化

- 災害対策のマニュアル化・訓練の実施
- 積極的な広報
- 地域住民や地元企業等との連携の推進

12 カネ・財政計画

水道事業財政計画の基本的な考え方

- 引き続き、包括的業務委託の推進や施設統廃合等のコスト縮減など経営改善や執行体制確保に資する取組みを推進します。
- 年度末の休庁日開設、迅速な漏水相談の対応など窓口サービスの充実を図ります。
- 漏水調査について町内全域を5か年で実施するとともに、施設のメンテナンスを積極的に進め、更新時期の延命や、有収率の向上を目指します。
- 老朽化した施設の更新にあたっては、効率的な施設配置を検討するとともに、財政状況に合わせた更新需要額の平準化を行い、優先度を考慮して事業の推進を図ります。
- 水道料金については、当面の間、現行の料金水準を確保しますが、今後は将来の更新需要を見据え、公正な料金体系のあり方を検討します。

12 カネ・財政計画

水道事業財政収支計画(R3~R7)

(単位:百万円)

区 分	年度	決算	決算見込	予算	計 画				3~7年度 計	10年後 令和12年度 (2030)
		令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)		
収益的 収支	収益的収入	460	486	424	420	411	407	401	2,063	378
	料金収入	369	348	364	374	367	363	359	1,827	340
	その他	91	138	60	46	44	44	42	236	38
	収益的支出	389	432	368	368	361	362	358	1,817	348
	維持管理費	241	291	230	231	229	233	232	1,155	240
	うち人件費	15	26	27	27	28	28	21	131	22
	うち受水費	143	117	117	116	115	115	114	577	112
	減価償却費等	132	127	126	126	123	121	119	615	105
	支払利息等	16	14	12	11	9	8	7	47	3
	当年度純損益(税抜)	66	44	39	34	32	28	27	160	16
資本的 収支	資本的収入	31	143	110	48	58	37	40	293	17
	企業債	19	68	79	46	54	27	30	236	13
	国庫補助金	11	62	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	13	31	2	4	10	10	57	4
	資本的支出	162	258	226	193	203	168	170	960	101
	建設改良費	66	169	138	105	112	81	85	521	68
	企業債償還金	96	89	88	88	91	87	85	439	33
資本的収支差引	△ 131	△ 115	△ 116	△ 145	△ 145	△ 131	△ 130	△ 667	△ 84	
資金 収支	損益勘定留保資金	85	94	89	91	90	88	87	445	77
	その他	71	54	56	52	50	45	43	246	30
	当年度資金収支	24	33	30	△ 2	△ 5	2	0	25	22
累積資金残額	187	220	250	248	243	245	245	—	328	
企業債残高	857	836	827	785	748	688	633	—	465	

12 カネ・財政計画

下水道事業財政計画の基本的な考え方

- 引き続き、包括的業務委託の推進や施設統廃合等のコスト縮減など経営改善や執行体制確保に資する取組みを推進します。
- 町民に対し普及活動を行い、水洗化率(接続率)の向上を目指します。
- 不明水対策について、原因解明と対策を委託事業者と共同で進めます。
- 施設のメンテナンスを積極的に進め、更新時期の延命を目指します。
- 老朽化した施設の更新にあたっては、財政状況に合わせた更新需要額の平準化を行い、優先度を考慮して事業の推進を図ります。
- 次期ストックマネジメント計画について、策定を進めます。(R4年度～8年度)
- 下水道使用料については、計画期間中、現行の料金水準を確保しますが、計画期間後も続く更新需要を見据え、公正な料金体系のあり方を検討します。

12 カネ・財政計画

下水道事業財政収支計画(R3~R7)

(単位:百万円)

区 分	年度	決算	決算見込	予算	計 画				3~7年度 計	10年後 令和12年度 (2030)
		令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)		
収益的 収支	収益的収入	619	611	611	613	587	588	584	2,983	571
	下水道使用料	142	146	143	143	143	141	139	709	133
	他会計補助金	255	252	253	258	232	235	234	1,212	226
	長期前受戻入	217	205	205	204	204	204	203	1,020	203
	その他	5	8	10	8	8	8	8	42	9
	収益的支出	499	488	492	480	473	466	461	2,372	444
	維持管理費	106	104	115	111	111	111	111	559	111
	うち人件費	12	4	4	4	4	5	5	22	5
	減価償却費等	328	327	326	324	323	321	320	1,614	314
	支払利息等	65	57	51	45	39	34	30	199	19
当年度純損益(税抜)	111	117	116	127	107	115	117	582	120	
資本的 収支	資本的収入	464	353	380	343	291	254	234	1,502	136
	企業債	375	293	304	278	236	202	183	1,203	86
	国庫補助金	48	16	18	33	35	37	39	162	48
	他会計負担金	41	39	37	32	20	15	12	116	2
	その他	0	5	21	0	0	0	0	21	0
	資本的支出	705	607	621	609	566	533	503	2,832	297
	建設改良費	202	112	122	109	108	112	116	567	128
企業債償還金	503	495	499	500	458	421	387	2,265	169	
資本的収支差引	△ 241	△ 254	△ 241	△ 266	△ 275	△ 279	△ 269	△ 1,330	△ 161	
資金 収支	損益勘定留保資金	112	123	121	120	119	117	116	593	82
	その他	120	130	128	142	122	130	132	654	407
	当年度資金収支	△ 10	△ 2	7	△ 4	△ 35	△ 31	△ 22	△ 85	82
累積資金残額	322	320	327	323	288	257	235	—	407	
企業債残高	4,123	3,930	3,744	3,531	3,317	3,106	2,910	—	2,229	



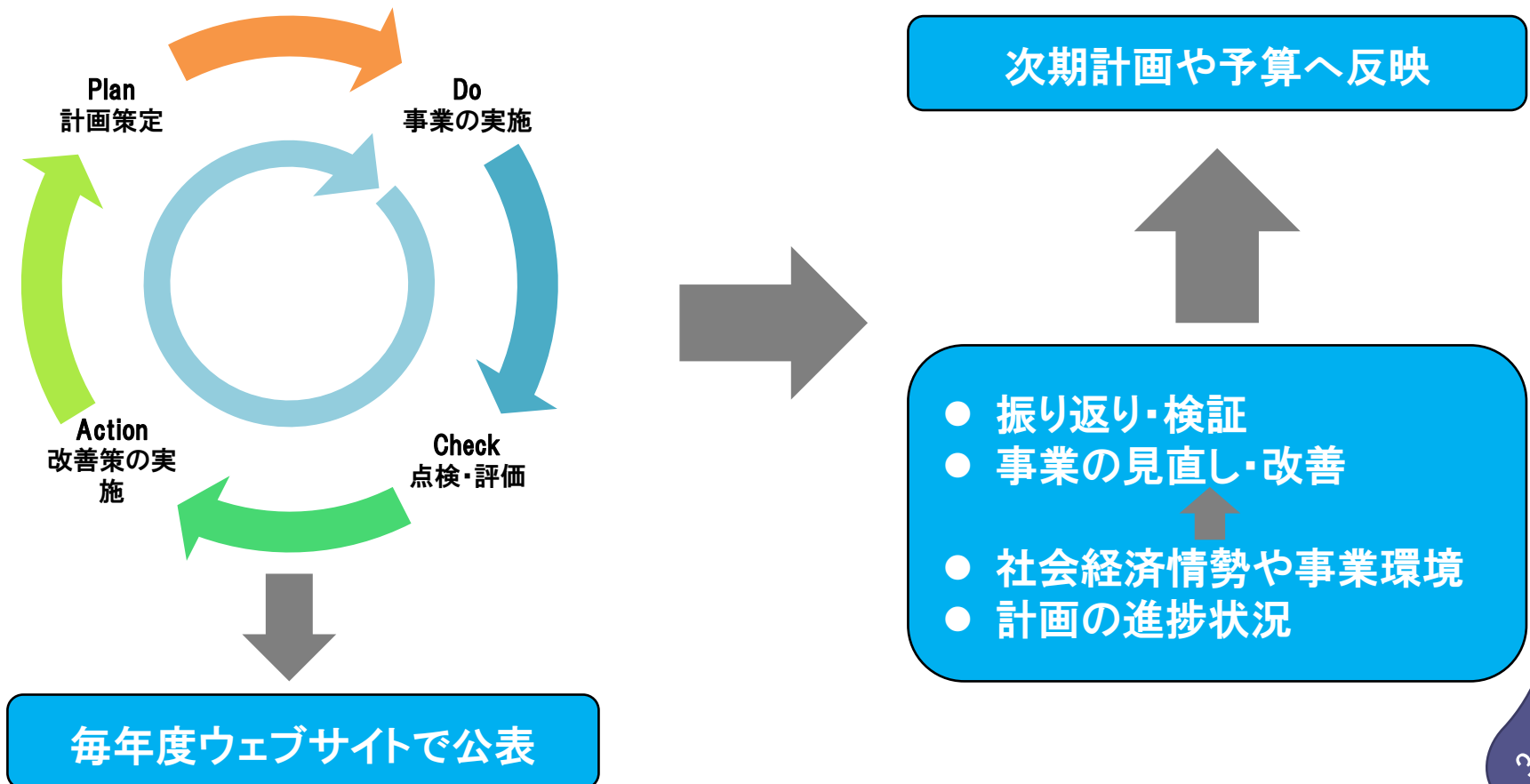
13 住民サービス

住民サービスの基本的な考え方

- 引き続き、「広報やまもと」に上下水道事業の経営や運営等の状況をお知らせすることで、広く町民への周知と理解を進めます。
- 状況に応じて、町民アンケート等を実施し、ニーズの把握に努め、住民サービスの維持・向上に努めます。
- 小学生向けなどの施設見学会を実施し、上下水道施設の現状や将来の更新に必要な施策等について理解を深められるよう取組みを推進します。

14 計画の進行管理【PDCAサイクルの実践】

- 本計画の実行にあたっては、毎年度予算に事業計画として反映させ、決算を踏まえて進捗状況や目標達成状況を評価し、毎年度ウェブサイトで公表します。
- 評価検証結果を事業運営に反映させるとともに、目標達成に向け継続的に改善しながら本計画の実行を推進します。



15 参考資料

【参考】水道事業財政収支計画(R3~R12)

(単位:千円)

区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		決算	決算見込み	予算	推計								
収益的収支	収益的收入	459,556	485,602	423,788	419,866	411,161	406,505	400,962	395,458	389,815	385,254	381,533	377,919
	料金収入	368,700	347,681	363,588	374,211	367,508	363,096	358,832	354,712	350,726	346,871	343,140	339,525
	その他	90,856	137,921	60,200	45,655	43,653	43,409	42,130	40,746	39,089	38,383	38,393	38,394
	収益の支出	388,900	432,056	367,516	367,658	361,492	361,854	358,221	353,594	351,035	346,563	346,470	348,327
	物件費	98,354	173,654	112,967	114,861	113,789	118,281	118,208	118,262	121,737	121,815	124,359	128,276
	うち人件費	15,096	26,410	27,339	27,476	27,613	27,751	21,152	21,257	21,364	21,471	21,578	21,685
	受水費	143,360	117,105	116,527	115,955	115,388	114,828	114,273	113,723	113,179	112,640	112,107	111,579
	減価償却費等	131,630	127,453	125,711	126,071	123,029	120,700	118,929	115,844	111,245	107,956	106,422	105,335
	支払利息等	15,555	13,844	12,311	10,771	9,286	8,046	6,812	5,765	4,874	4,151	3,582	3,136
	当年度純損益(税抜)	65,599	43,989	39,452	34,477	32,495	28,009	27,164	26,612	24,113	24,325	21,260	16,479
資本的収支	資本的收入	31,341	143,286	110,900	47,500	58,686	36,936	39,936	27,936	17,936	16,936	16,936	16,936
	企業債	18,900	67,500	79,500	46,000	54,500	27,000	30,000	18,000	14,000	13,000	13,000	13,000
	国庫補助金	11,077	62,687	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1,364	13,099	31,400	1,500	4,186	9,936	9,936	9,936	3,936	3,936	3,936	3,936
	資本的支出	162,299	258,345	226,310	193,080	202,902	167,812	169,909	150,000	125,909	112,910	107,917	102,153
	建設改良費	66,282	169,201	137,981	104,957	112,169	80,457	84,999	82,041	71,583	68,625	68,667	68,709
	企業債償還金	96,017	89,144	88,329	88,123	90,733	87,355	84,910	67,959	54,326	44,285	39,250	33,444
	資本的収支差引	△130,958	△115,059	△115,410	△145,580	△144,216	△130,876	△129,973	△122,064	△107,973	△95,974	△90,981	△85,217
当年度資金収支	24,212	32,874	30,207	△2,365	△4,616	1,585	50	5,346	13,383	22,706	22,527	21,732	
累積資金残額	187,069	219,762	249,736	247,138	242,289	243,641	243,458	248,570	261,720	284,193	306,487	327,986	
企業債残高	857,300	835,656	826,827	784,705	748,471	688,117	633,206	583,247	542,920	511,635	485,385	464,941	

15 参考資料

【参考】下水道事業財政収支計画(R3~R12)

(単位:千円)

区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		決算	決算見込	予算	推計								
収益的収支	収益の収入	618,760	610,295	610,895	613,752	586,149	587,844	584,872	580,356	576,816	577,395	577,687	570,590
	下水道使用料	141,986	145,730	142,573	143,466	142,544	140,781	139,401	137,990	136,475	135,035	133,680	132,317
	他会計補助金	255,307	251,992	253,294	258,126	231,913	235,394	233,839	231,206	228,968	230,724	232,061	225,960
	長期前受金戻入	216,876	204,571	204,576	204,390	204,092	203,709	203,346	203,215	203,090	203,020	203,007	203,049
	その他	4,590	8,002	10,452	7,771	7,600	7,960	8,286	7,945	8,284	8,615	8,939	9,263
	収益の支出	498,823	488,840	491,301	479,885	472,530	466,272	461,067	456,752	452,824	449,462	446,435	443,836
	維持管理費	105,769	104,415	114,739	111,002	111,026	111,050	111,074	111,098	111,122	111,147	111,171	111,195
	うち人件費	12,251	4,010	4,447	4,469	4,492	4,515	4,538	4,561	4,584	4,607	4,630	4,653
	減価償却費等	328,476	327,301	325,672	324,179	322,799	321,185	319,595	318,393	317,067	315,842	314,718	313,695
	支払利息等	64,578	57,124	50,890	44,704	38,705	34,037	30,398	27,261	24,635	22,473	20,546	18,946
当年度純損益(税抜)	110,905	117,175	116,486	127,245	107,251	115,002	117,035	117,303	117,491	121,231	124,349	119,651	
資本的収支	資本の収入	463,048	352,166	378,975	343,122	290,650	254,627	234,035	204,810	174,378	153,909	151,593	136,106
	企業債	374,800	293,200	304,200	278,100	235,700	202,200	182,700	154,500	124,800	103,700	100,600	85,400
	国庫補助金	47,518	15,600	17,500	32,750	34,950	37,150	39,350	39,550	41,750	43,950	46,150	48,350
	他会計負担金	40,730	38,861	36,775	32,272	20,000	15,277	11,985	10,760	7,828	6,259	4,843	2,356
	その他	0	4,505	20,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資本の支出	704,920	607,297	621,106	609,487	566,208	533,042	503,516	462,399	414,945	366,811	336,881	296,809
	建設改良費	202,303	112,118	122,356	109,195	108,243	112,291	116,341	111,391	115,441	119,491	123,541	127,591
	企業債償還金	502,617	495,179	498,750	500,292	457,965	420,751	387,175	351,008	299,504	247,320	213,340	169,218
資本的収支差引	△241,872	△255,131	△242,131	△266,365	△275,558	△278,415	△269,481	△257,589	△240,567	△212,902	△185,288	△160,703	
当年度資金収支	△10,336	△2,147	7,359	△4,108	△34,932	△31,267	△21,727	△11,608	4,102	34,052	63,075	82,097	
累積資金残額	321,969	319,822	327,182	323,074	288,142	256,875	235,148	223,540	227,642	261,694	324,769	406,866	
企業債残高	4,123,407	3,930,228	3,744,478	3,530,887	3,316,921	3,106,471	2,909,696	2,720,387	2,552,383	2,414,963	2,307,623	2,229,205	



復旧した いちご
(高設ベンチ水耕式)

住民と歩む持続的な山元町上下水道事業に向けて